

平成30年度 地すべり対策事業 再評価調書

事業名	地すべり対策事業	地区・路線名	木沢2期 地区																																
事業主体	徳島県	関係市町村	那賀町																																
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、那賀川支川の坂州木頭川の河岸段丘及び急斜面に位置し、沢谷、小島、寒谷、高山平、大用地、当山、木沢出羽の地すべり防止区域により構成され、特産であるすだち、柚などの栽培が行われている中山間農業地帯である。</p> <p>本地区の地質は、秩父帯の砂岩・泥岩・蛇紋岩で構成されており、破碎された地層が多く、風化の影響も受けやすい。この地層に豪雨等で地下水が流入することで、せん断抵抗力が低下し、地すべり現象が生じている。</p> <p>このため、当地区で地すべり対策事業を実施し、農地、農業用施設並びに人家や公共施設等の被害を除却、または軽減し、農業生産基盤及び生活基盤の維持・保全を図るものである。</p>																																		
	要	<p>(事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>受益面積</td> <td>239.3ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益戸数</td> <td>109戸</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要工事</td> <td>排水路工</td> <td>L=1,150m</td> <td>承水路工 L=1,940m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>排水ポーリング工</td> <td>L=3,505m</td> <td>土留工 6箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工</td> <td>2箇所</td> <td>集水井工 1箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>杭工</td> <td>1箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">749,500千円(国50%, 県50%)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="3">平成26年度～平成35年度</td> </tr> </table>			受益面積	239.3ha			受益戸数	109戸			主要工事	排水路工	L=1,150m	承水路工 L=1,940m		排水ポーリング工	L=3,505m	土留工 6箇所		アンカー工	2箇所	集水井工 1箇所		杭工	1箇所		総事業費	749,500千円(国50%, 県50%)			工期	平成26年度～平成35年度	
受益面積	239.3ha																																		
受益戸数	109戸																																		
主要工事	排水路工	L=1,150m	承水路工 L=1,940m																																
	排水ポーリング工	L=3,505m	土留工 6箇所																																
	アンカー工	2箇所	集水井工 1箇所																																
	杭工	1箇所																																	
総事業費	749,500千円(国50%, 県50%)																																		
工期	平成26年度～平成35年度																																		
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成29年度までに全24ブロック中、2ブロックを実施している。 平成30年度末の事業費進捗率は16.7%である。</p>																																		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>該当なし</p>																																		
	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>農業従事者の高齢化が進行しており、地域農業を取り巻く状況は厳しいものの、山間部におけるすだち、柚を中心とした営農活動は維持されている。近年、多発するゲリラ豪雨等により、地域の防災意識が高まっており、地すべり対策による生産基盤及び生活基盤の保全が重要となっている。</p>																																		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし</p>																																		
	項	<p>(費用対効果の分析)</p> <p>地すべり活動が顕著である小島工区のA-2ブロックではこれまでの対策工により地下水位の低下が図れており、引き続き、残計画の抑制工及び抑止工対策を進め、事業効果の発現を目指す。他ブロックについても事業推進により被害防止を図る。</p> <p style="text-align: center;">被害防止効果＝予想被害額／総事業費＝2.56</p>																																	
目	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>那賀町及び地元は、事業の早期完成を強く要望している。</p>																																		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>																																		